令和８年10月６日（火）
GIGA StuDX推進チーム　プチ学習会

みんなで取り組もう！
GIGA × 研究・研修のススメ

文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

「研究・研修」を、どのように進めていますか？



研究主任
教務主任
指導主事 などを中心に



全ての先生方と
協力しながら
進めるために…

「GIGA × 研究・研修」

端末の活用や情報活用能力の育成といったテーマを扱う

▶ 担当教科や学校種の壁を越えて共通理解を図ることができる！

研究に関わる業務にクラウドを活用する

▶ より効率的・効果的に進めたり、それ自体が操作研修の効果を発揮したりできる！



「GIGA × 研究・研修」

端末の活用や情報活用能力の育成といったテーマを扱う

▶ 担当教科や学校種の壁を越えて共通理解を図ることができる！

研究に関わる業務にクラウドを活用する

▶ より効率的・効果的に進めたり、それ自体が操作研修の効果を発揮したりできる！



担当教科や学校種の「壁」を越える

（例）

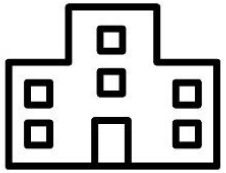
ある中学校



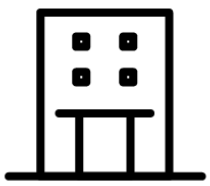
国語　社会　…



同じ中学校区の
小学校



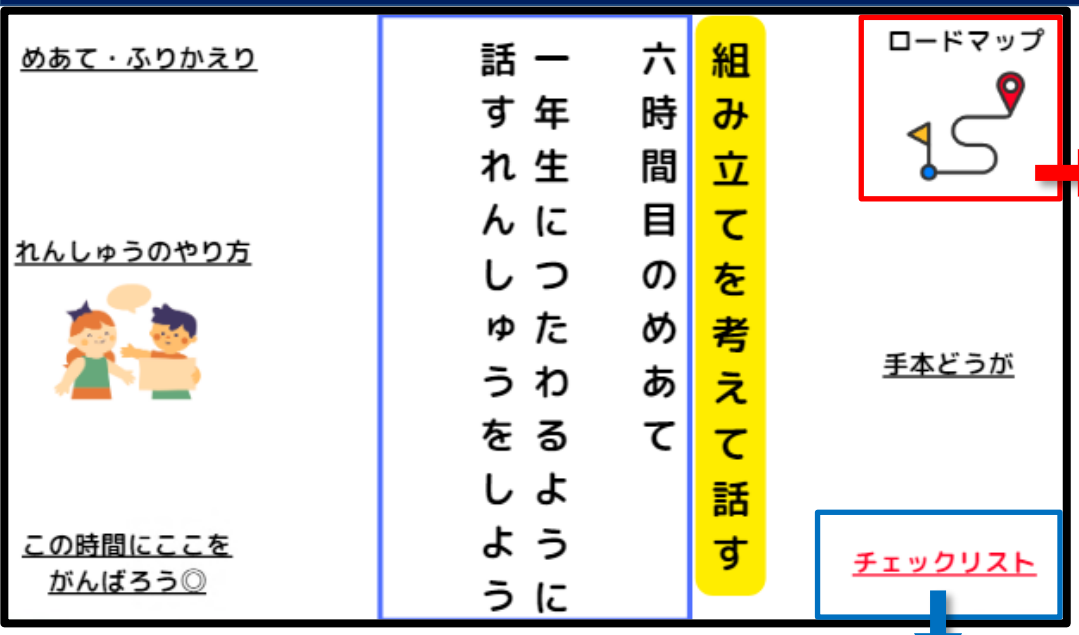
近隣の高校や
特別支援学校など

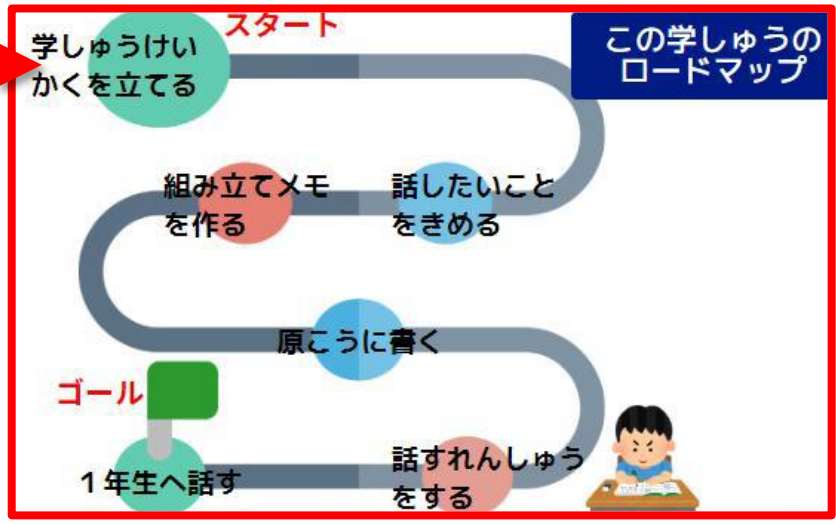




様々な学習の基盤となる
端末の活用 や 情報活用能力の育成

クラウド上の学習ガイドを、様々な教科等で活用





上図で「チェックリスト」の項目を選ぶと
下図のシートへリンクする様子

声の大きさ（つたえたいところは大きく）	話すはやさ（ゆっくり）	聞く人を見ながら話す	「はじめ」で何について話すか言う 「中」で分かったこと、見つけたことを言う 「おわり」で思ったことを言う	チェックをもらった人
チェック１	チェック２	チェック３	チェック４	
◯	◯	◎	◎	１人目
◯	◎	◎	◎	２人目
◎	◯	◎	◎	３人目

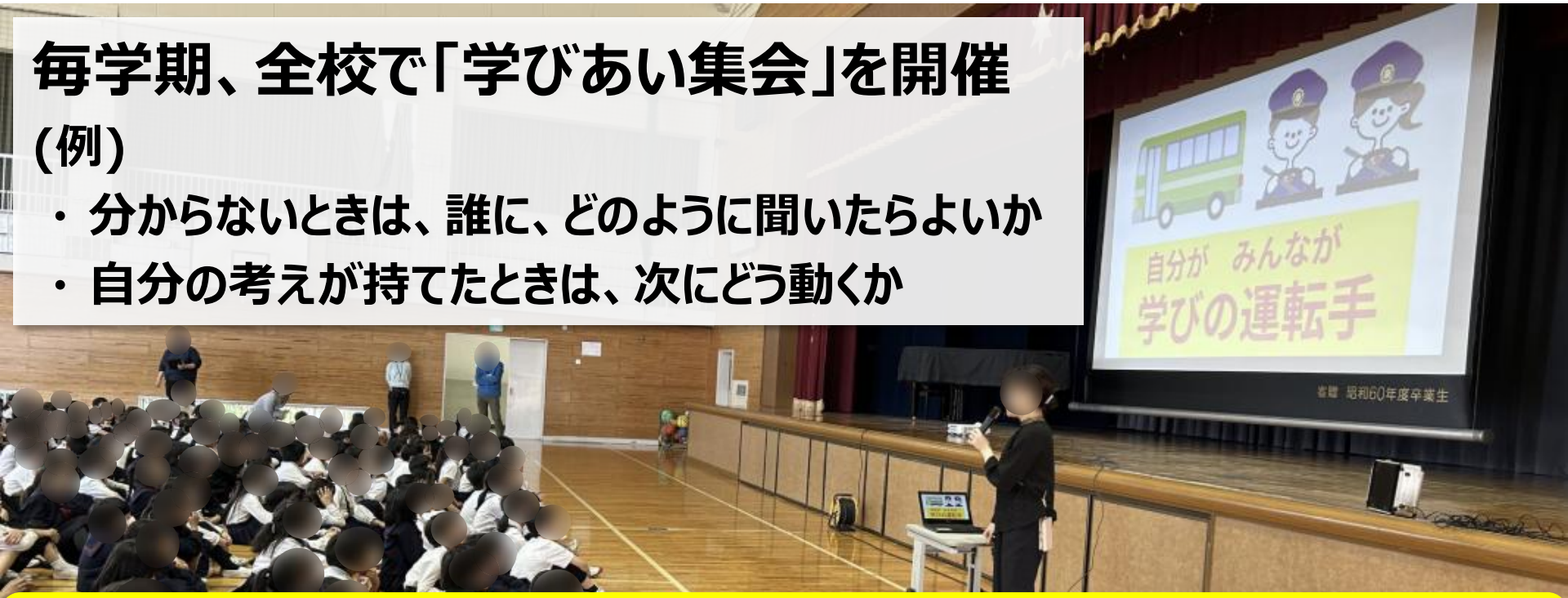
「学習計画」や「振り返り」の重要性を共通理解

【出典】佐賀県武雄市立山内東小学校　令和７年度リーディングDXスクール事業報告書　※赤枠等は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

クラウド上で他者の様子を参照する取組を進める中…



子供がそのまま写して自分で考えないようになったり
学ぶ相手の固定化が起こったりする懸念がある…。



毎学期、全校で「学びあい集会」を開催

(例)

- **分からないときは、誰に、どのように聞いたらよいか**
- **自分の考えが持てたときは、次にどう動くか**

クラウドを活用した学び方について「目線」を合わせる

【出典】石川県能美市立浜小学校（令和７年度リーディングDXスクール事業指定校）

情報活用能力に関する体系表の策定

	タイトル	低学年	中学年
基本操作	タイピング	キーボードを使って10～20文字/分で文字の入力ができる。	タイピング（ローマ字変換で1分間に20～40文
	写真・動画	タブレットなどで、写真や動画を撮って見ることができる。	タブレットなどで、写真や動画を撮影したり、
	検索	知りたいことを調べる時に、インターネットでも調べられるということを知っている。	知りたいことをインターネットで調べることがで
情報収集	聴く	人の話をよく聞いて、質問や感想を言うことができる。	話を聞きながら、大事だと思うことをメモするこ
	読み取る		
	選択	知りたいことを、本や人に聞	
整理・	選択		
	表やグラフ		
	まとめる	調べたことを、スライドやポ	

	タイトル	中学校
基本操作	タイピング	タイピング（ローマ字変換で1分間に60文字以上の入力速度）が正確にできる。
	写真・動画	タブレットなどで撮影した画像や動画を必要に応じて編集（トリミングや字幕付けなど）することができる。
	検索	知りたいことをキーワードを組み合わせたり、検索サービスを選んだりして調べることができる。
情報収集	聴く	必要に応じて、記録したり質問したりしながら話す人の言いたいことをとらえることができる。
	読み取る	表やグラフから変化や傾向を読み取り、わかりやすく説明することができる。
	選択	知りたいことを図書資料や、インターネット、見学や実験、観察等を通して調べることができる。
整理・	選択	複数の情報（ホームページも含め）を比較し、正確な情報か精査した上で、必要なものを選ぶことができる。
	表やグラフ	実験結果や資料から読み取った数値をもとに、表やグラフに表すことができる。
	まとめる	目的や意図に応じて、調べたことの中から必要なものを選び、新聞やレポート等にまとめることができる。

中学校区で研究授業を参観し合うような工夫にもつながる

【出典】北海道新ひだか町立高静小学校、静内第三中学校　令和７年度リーディングDXスクール事業報告書　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

体系表を、子供向けのチェックシートに

情報活用能力チェック表【高学年】

名前【　　】

大項目	小項目	チェック	身につけたい力（3回以上できたらチェックする）	アプリ・ツール
基本的な操作	情報の入力	☑	考えを入力したり、課題を作成したりするときに、キーボードを使って文字入力をする。（50文字／1分間）	Chromebook
		☑	検索した情報を引用したり、文字や図をくりかえし使用する時に、コピー（Ctrl+C）・貼り付け（Ctrl+V）の機能を活用して入力する。	
	アプリ等の操作	☑	集めた情報や調査の結果をスプレッドシート上に表を作成して、まとめたり、グラフ化したりする。	スプレッドシート
		☑	Classroomから、Google Meetを使うことができる。	Google Meet
	検索	☑	調べたいことを検索する時に、「世界遺産-日本」のように、キーワードの前に「-」をつけ、不要な語句を除外して検索する。	Google Chrome
	保存	☑	ファイル名を「国語_課題_やまなし感想文」のように、教科・学習場面・単元名による命令規則に沿って変更（保存）し、検索の時に見つけやすくする。	Google ドライブ
		☑	共同編集を行うファイルを先生の指示に従って共有する。	
		☑	ドライブ上でファイルをコピーしたり、不要なファイルを削除してマイドライブ内を整理したりする。	
情報セキュリティ・情報モラル	情報モラルに気をつけて情報を活用する	☑	言葉づかいや情報の正しさに気をつけながら、学習（学校生活）に関するやりとりをする。	Classroom
				Chat
	情報セキュリティに			

取組を学校全体へ直接的に広げる

【出典】沖縄県沖縄市立諸見小学校　令和７年度リーディングDXスクール事業報告書　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

次期学習指導要領における情報活用能力の整理案

補足イメージ⑥

論点整理

情報活用能力の抜本的向上に係る主な課題

- 小中高を通じた育成体系が不明確であることや、他国と比べ指導内容が不十分であること等の課題を踏まえれば、情報活用能力の抜本的向上に向けた内容面の充実の方向性については、**（１）どのように情報技術の活用の実態を高めていくか**（主に①活用）、**（２）内容として不足している部分をどう充実するか**（主に②適切な取扱い、③特性の理解）という観点で総合的に整理することが重要

情報技術の
※コンピュータ、情報通信ネットワーク、AI、メディア等

①活用

情報技術の基本的な操作及び情報技術を活用した情報の収集、整理・比較、発信・伝達等に関すること

<具体的な課題>
- 小学校において教科等に明確に位置付けがなく、地域や学校による差が大きい
- 探究の学習の過程において情報技術の活用が十分ではない

②適切な取扱い

情報技術を扱う際の留意事項に関すること（情報モラル、権利と責任等）

<具体的な課題>
- メディアリテラシーについて学校の取組差が大きい（発信源の確認、複数媒体の比較、ファクトチェック等）
- 急激なスピードで広がる負の側面への対応が不十分（フィルターバブル、エコーチェンバー、デジタルとアナログの適切な使い分け、長時間利用の影響の理解を含むデジタルとの適切な距離の置き方に関する自己調整）

③特性の理解

情報技術の特性の科学的な理解に関すること(コンピュータの仕組み、データ活用等)

<具体的な課題>
- 小学校では扱われていない
- 中学校では技術分野の一部での取扱いにとどまる（産業や職業との関連が弱い）
- 学校種通じ、生成AI等の先端技術に関わる内容が明確に位置付けられていない

※指導体制の整備と併せて、技術の進展に伴い、教育内容が妥当性を失うことを防ぎ、教師の負担を可能な限り減らす仕組みを構築する必要

【出典】中央教育審議会 教育課程部会 情報・技術WG 取りまとめ(案)（会議後修正版）　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記
https://www.mext.go.jp/content/20260804-mxt_kyoiku01-000051433-1.pdf

研究・研修の時間確保



放課後も部活動などがあり、
研究や研修の時間を確保するのが難しい…。

例えば…

- **校務DXを推進する**
  （**クラウドを活用して職員会議を効率的に進める**
  → 生まれた時間を活用して、短時間の研修を行う）

- **授業の空き時間に、他の学級を自由に参観してよいという共通理解を明確に図る**
  → 意見はチャットツール等で隙間時間に伝え合う

研究・研修の時間確保



短時間研修に「プチ学習会」もご活用ください！

【出典】山形県米沢市立塩井小学校（令和７年度リーディングDXスクール事業指定校）　※赤枠は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

「GIGA × 研究・研修」

端末の活用や情報活用能力の育成といったテーマを扱う

▶ 担当教科や学校種の壁を越えて共通理解を図ることができる！

研究に関わる業務にクラウドを活用する

▶ より効率的・効果的に進めたり、それ自体が操作研修の効果を発揮したりできる！



「GIGA × 研究・研修」

端末の活用や情報活用能力の育成といったテーマを扱う

▶ 担当教科や学校種の壁を越えて共通理解を図ることができる！

研究に関わる業務にクラウドを活用する

▶ より効率的・効果的に進めたり、
それ自体が操作研修の効果を発揮したりできる！



研究・研修のお悩み例



学習指導案などの資料を、印刷して先生方に回覧したり、修正の度に配付し直したりするのに時間がかかる…。

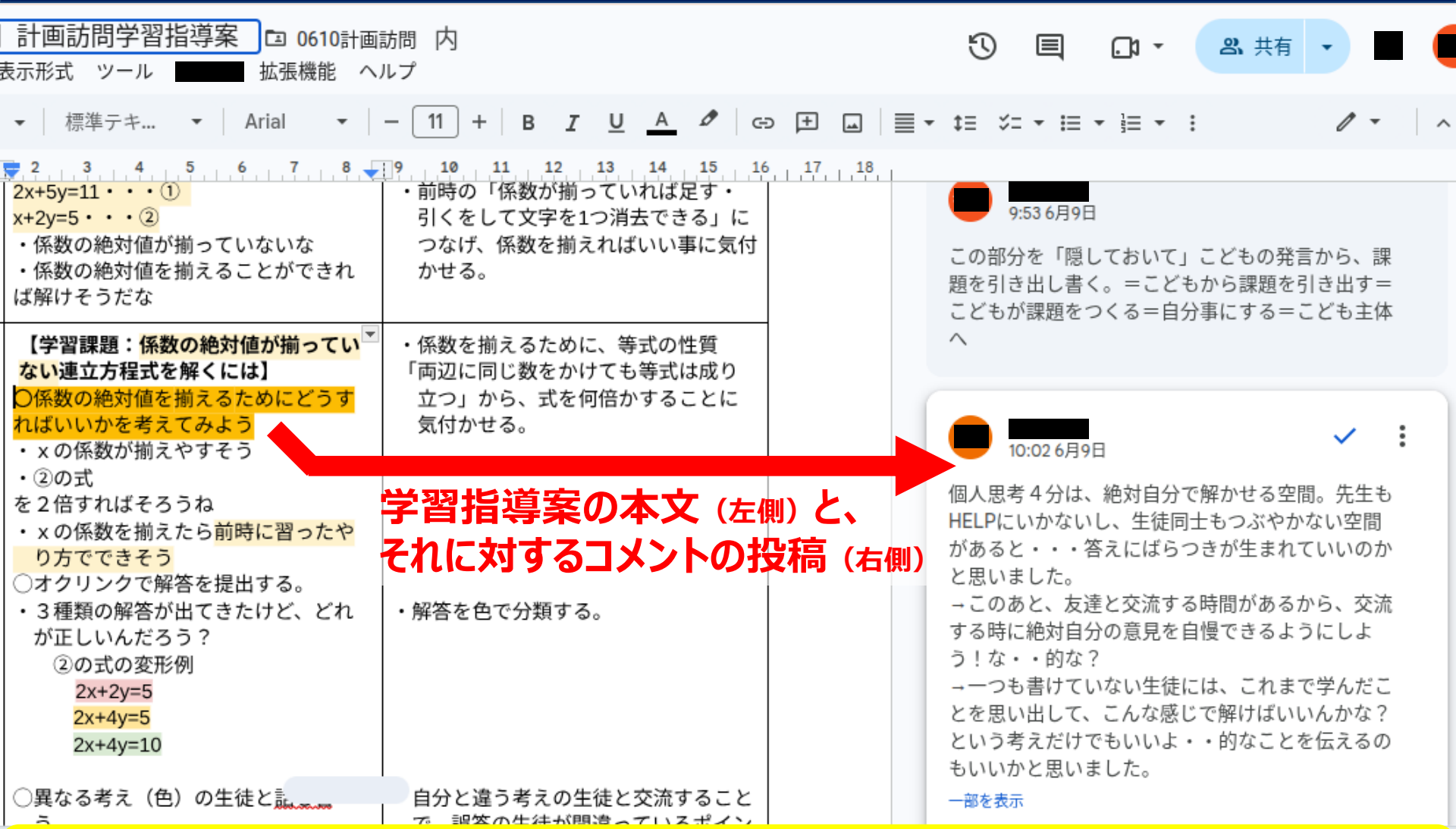


年間計画や授業記録など、研究や研修に関する様々な資料が散らばっていて、どこにあるか分からなくなる…。



日々の実践の様子や、参考になりそうな資料などを、わざわざ集まって情報共有するような時間が取りづらい…。

資料のクラウド共有や共同編集

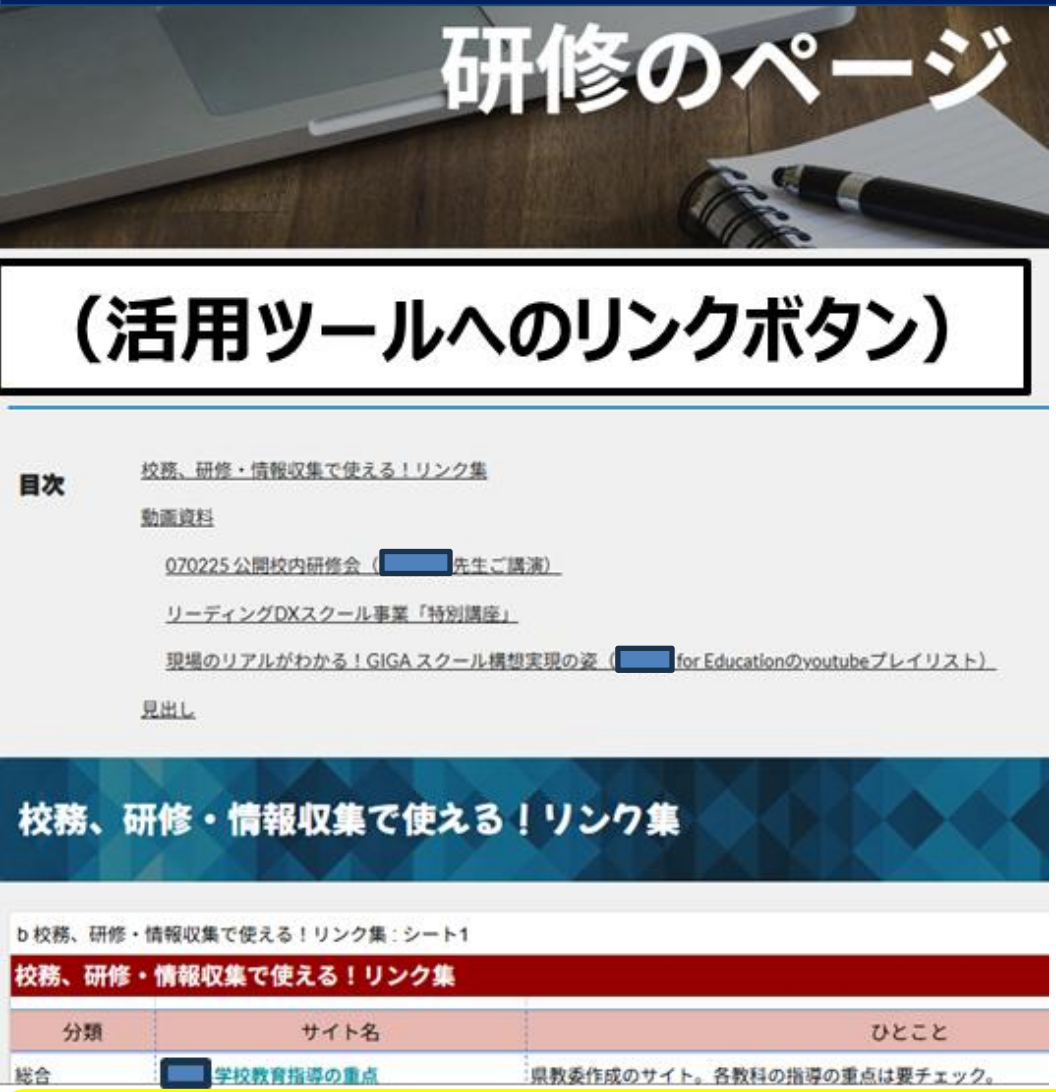


学習指導案の本文（左側）と、それに対するコメントの投稿（右側）

最新版が共有され、直前の計画修正なども行いやすい

【出典】石川県能美市立寺井中学校（令和８年度生成AIパイロット校事業指定校）　※赤矢印等は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

教職員用ポータルサイトで情報集約







「研究・研修」「授業」「校務」を一体的に整理

【出典】山形県米沢市立塩井小学校（令和７年度リーディングDXスクール事業指定校）　※青枠等は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

チャットで情報共有の密度を上げる

【今後大切にしたいこと】
・一部の教員だけでなく、学校全体で組織として活用できるようにする。
・そのために、効果的な活用事例やプロンプト、Q&Aを共有し、実践と振り返りを積み重ねながら、よりよい使い方を考えていく。

※ここに書ききれない程、刺激のある研修でした。まずは自校に持ち帰り共有・実践につなげていきます。

3 7 2

[redacted]

【1日目：政策・理論とAI活用のリスク】
- **文部科学省の方針：** 2040年の深刻な労働力不足を見据え、小学校での「情報の領域」新設や中学校での「情報・技術科」創設など、**「情報活用能力」を基盤的な資質として身に付けられるように示してくれました。**
- OECDの調査では、AIに頼りすぎると**学習内容を記憶できず（8割）、AI利用を止めた途端に成績が17%低下する**というリスクがあることがわかりました。
- AIに依存するのではなく、いずれは外して自走できるようにするための**一時的な支援（足場）として、教育的意図を持って活用させることが大切だと知りました。
- AIに思考を丸投げすることの危うさを痛感しました。教師がリスクを理解した上で、子供の主体性を守る活用設計を行うべきだと感じました。

【2日目：校務での実践例と組織の資産化】
- **具体的な校務活用：** 学級経営案へのフィードバック、所見作成の「壁打ち」、多言語対応の24時間学校に問い合わせができるチャットボット作成など、**グループワークを通して教員の事務効率化の実践**をしりました。
- 仕事を「知識（ナレッジ）」と「手順（スキルズ）」に分解してAIに読み込ませることで、新任者でも迷わず業務を遂行できる「組織の資産」にする方法を学び実践しました。なかなか難しいですが、ノートブックでの活用は可能なのではないかと思いました。
- AIに任せられない「子供への機微な判断」や「地域の事情」が、**教員が磨き続けるべき本質的な力**であると思います。 目的を曖昧にしたままの効率化から、「言語化能力」を磨き、AIを共に仕事をより良くしていくパートナーとして活用したいと思います。

AIと自分の考えを交えながらまとめてみました。他県の先生の話などの書きたいくらいおもしろい話ばかりで東大での内容も聞きごたえがありました。これからの実践する内容も含めいい報告ができるようにします！

2 8 3

出張先で学んだことのアウトプット（左図）と、それに対するコメントを投稿し合う（下図）様子

[redacted]

生成AIパイロット校に採択されて本当に良かったと感じています😆
皆様、ここからがスタートです。
ぜひ多度津、香川県のためにアウトプットの方法にこだわって、まずは自校で展開してください🙇‍♂️
皆さんの振り返りを読んで嬉しくなりました。ありがとうございました😊

3

[redacted]

学習会に参加された多度津町の先生方、２日間お疲れさまでした。皆さんの振り返りを読ませていただき、多くの学びと計り知れない刺激があった学習会だったことがよくわかります。学ばれたことをそれぞれの学校で展開して、子どもたちを「深い学び」に導いてください。私もいっしょにがんばります。多度津町の教職員みんなで、多度津町の子どもたちを育てていきましょう。自分の学校の子どもたちだけでなく、どこの学校の子どもも多度津の子どもですから。本当に２日間お疲れさまでした。

2 3

日常的に・自分のペースで確認できる余裕

【出典】香川県多度津町（令和８年度生成AIパイロット校事業指定箇所）　※赤矢印等は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

内容ごとにメッセージのスペースを整理



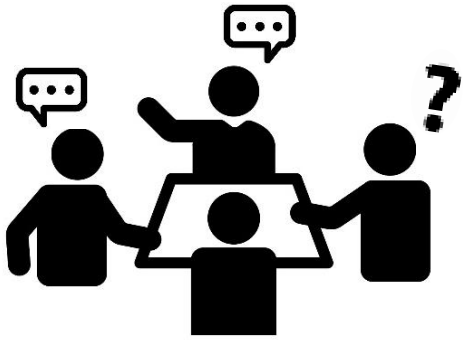
未読の項目も効率的に確認できる

【出典】茨城県つくば市立みどりの学園義務教育学校（令和７年度生成AIパイロット校事業指定校）　※赤枠等は研修用にGIGA StuDX推進チームが追記

研究・研修のお悩み例

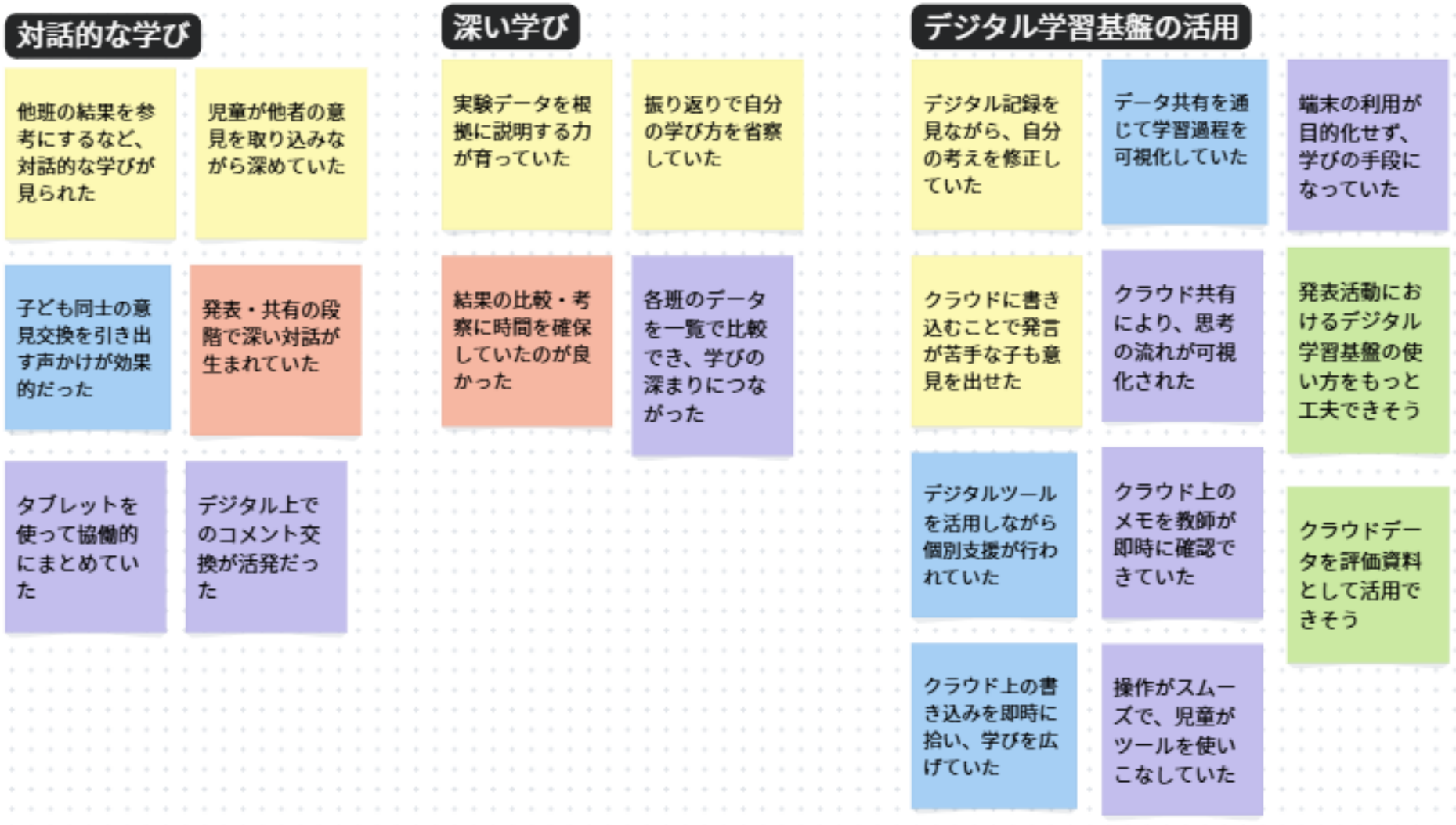


発言が一部の人に限られて、一人一人が主体的に協議を深めることが難しい…。



口頭でのやり取りが続いて、授業中の具体的な姿に基づいた協議になりづらい…。

ホワイトボードアプリで多様な意見を可視化



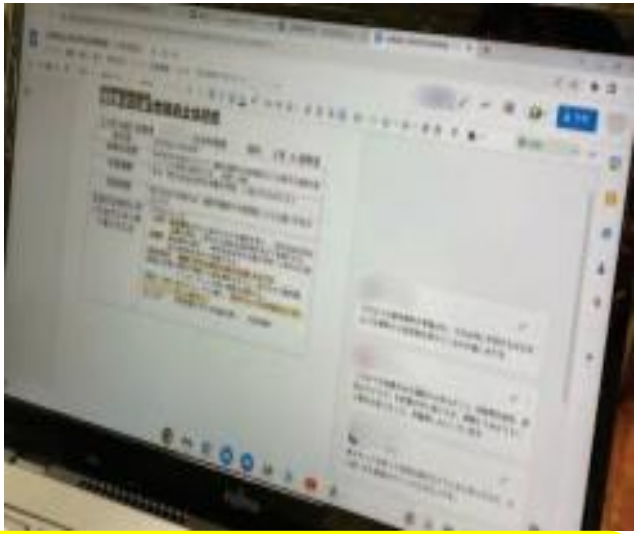
学習活動と同じような取組が、操作研修の効果を発揮

【出典】令和７年度第３回プチ学習会「GIGA×公開授業研究会のススメ」資料

授業の最中からチャット等で意見入力







子供の見取りの、リアルな記録や写真添付

【出典】静岡県吉田町（令和５年度リーディングDXスクール事業指定箇所）

「GIGA × 研究・研修」

端末の活用や情報活用能力の育成といったテーマを扱う

▶ 担当教科や学校種の壁を越えて共通理解を図ることができる！

研究に関わる業務にクラウドを活用する

▶ より効率的・効果的に進めたり、
それ自体が操作研修の効果を発揮したりできる！



「GIGA × 研究・研修」

端末の活用や情報活用能力の育成といったテーマを扱う

▶ 担当教科や学校種の壁を越えて共通理解を図ることができる！

研究に関わる業務にクラウドを活用する

▶ より効率的・効果的に進めたり、それ自体が操作研修の効果を発揮したりできる！



令和８年10月６日（火）
GIGA StuDX推進チーム　プチ学習会

みんなで取り組もう！
GIGA × 研究・研修のススメ

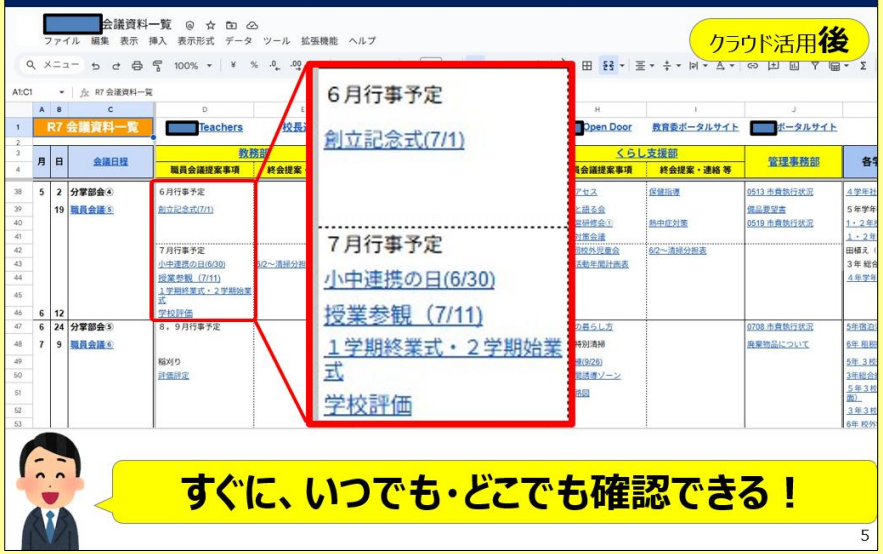
文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

校務DXに関する参考資料

令和８年度第１回実施

「【校務編】先生に聞いてみた！クラウド活用の工夫」

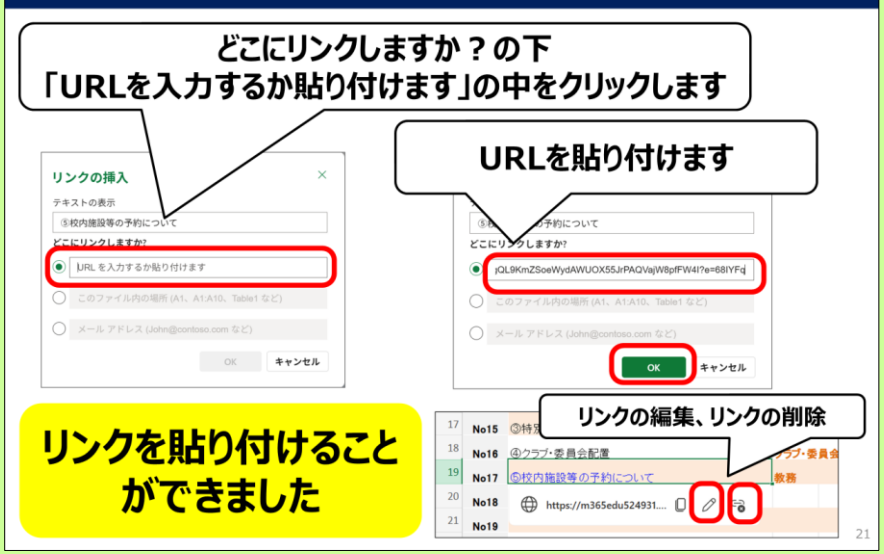
職員会議資料の一元的な整理



令和７年度第４回実施

「使える！校務×クラウド活用」（操作体験型）

ファイルへのリンクを一覧表に貼り付けます



プチ学習会ウェブサイト ☞ **令和８年度**

https://www.mext.go.jp/studxstyle/special/p_gaku-r08.html

令和７年度

https://www.mext.go.jp/studxstyle/special/p_gaku-r07.html